

1 詳細リスク評価書シリーズ 21 六価クロム

2 正誤表

3 (2008年7月4日更新)

ページ	行	誤	正
6	18	セメント系固化 <u>剤</u>	セメント系固化 <u>材</u>
70	4	<u>有意な正の相関が、クロム槽での作業期間と肺および気管支のがんのO/Eの間に見られた。</u>	<u>クロム槽での作業期間が長いと肺と気管支のがんのO/Eは大きくなった。</u>
72	21	(<u>RL. VM 2001</u>)	(<u>RIVM 2001</u>)
139	表 IV.25	大気への放出率(<u>$A \times (1-B)$</u>)	大気への放出率(<u>$A/100 \times (1-B/100)$</u>)
139	表 IV.25 脚注 2)	出典：貴田ら (2003)	出典：貴田ら (2003). <u>焼却ゴミ中Crを100%としたとき。</u>
143	20	セメント系固化剤	セメント系固化 <u>材</u>
190	1	急性毒性試験データについては別表 VIII.2 に示す。無脊椎動物と同様に、短期間の急性毒性試験では、硬度、pH、温度といった水質特性の影響が大きくなる。6価 Cr は速やかにエラを通過し、肝臓や腎臓、脾臓などの器官に影響を及ぼすが (Environment Canada and Health Canada 1994)、例えば、pH が低い場合、6価 Cr の形態は HCrO_4^- となり、細胞膜を通りやすくなる (Trama & Benoit 1960)。淡水における LC_{50} は表 VIII.6 に示すように <u>4~213 mg/L の範囲にあり、平均はおおよそ 60 mg/L であった。</u>	急性毒性試験データについては別表 VIII.2 に示す。 <u>淡水における LC_{50} は 4~213 mg/L の範囲にあり、平均はおおよそ 60 mg/L であった。</u> 無脊椎動物と同様に、短期間の急性毒性試験では、硬度、pH、温度といった水質特性の影響が大きくなる。6価 Cr は速やかにエラを通過し、肝臓や腎臓、脾臓などの器官に影響を及ぼすが (Environment Canada and Health Canada 1994)、例えば、pH が低い場合、6価 Cr の形態は HCrO_4^- となり、細胞膜を通りやすくなる (Trama & Benoit 1960)。
204	30	…は比較的耐性が低い傾向に <u>あり、このような耐性は地上部のCr含有率とCr含有率耐性に関係している</u> ことを報告している。	…は比較的耐性が低い傾向に <u>ある</u> ことを報告している。
209	18	…6価 Cr が表層 10 cm の土壤に均一に混入するものとして算定した。	…6価 Cr が表層 10 cm (<u>ミミズの活動域を想定</u>) の土壤に均一に混入するものとして算定した。
210	18	センターラインの塗布の厚みおよび幅はそれぞれ 1.5 mm および 15 cm とし、路面標示分も考慮して 30 cm 幅に相当する黄色塗料が使用されると推定した。	<u>路面標示の塗布の厚みは 1.5 mm とした。塗布の幅は、センターラインが幅 15 cm 程度であり、センターライン以外にも使用されることを考慮して、30 cm 相当と推定した。</u>
232	21	<u>比例的がん死亡率比</u> (PCMR)	<u>特定部位がん死亡率比</u> (PCMR)
239	33	長期継続し、60% <u>上</u>	長期継続し、60% <u>以上</u>
240	16	…公表版第 IV 章 5.7 項では表 IV. <u>12</u> に…	…公表版第 IV 章 5.7 項では表 IV. <u>13</u> に…
245	6	…、形態などを考慮できる。本評価書における解析では…	…、形態などを考慮できる。 <u>ただし</u> 、本評価書における解析では…
246	28	(<u>株</u>) 日本化学工業	日本化学工業 (<u>株</u>)
248	8	…降水量を 1,600 mm/year (日本の平均的な値として) とすると、…	…降水量を 1,600 mm/year (<u>気象庁 HP</u> . 日本の平均的な値として) とすると、…

250	10	…、「肺がん死亡率と総 Cr への暴露区分」の表を…	…、「肺がん死亡率と総 Cr への暴露区分」の表 <u>(表 III.4)</u> を…
252	19	…3.4 μg とした。評価書は、なお、評価書と…	…3.4 μg とした。評価書は、 <u>(改行)</u> なお、評価書と…
252	29	VIII 4, L36～	VIII-4, L36～
253	21	<u>前後のつながりから判断して、外部レビュー版の文章で適切と判断し、修正は行いませんでした。</u>	<u>「危険率 5%で対数正規性は否定されなかった」と修正いたしました。</u>
255	8	…、土壤に添加した Cr 化合物の濃度である」追記いたしました。	…、土壤に添加した Cr 化合物の濃度である」と追記いたしました。
256	27 VIII-40, L22 【対応】	<u>1.5 mm の方は幅ではなく路面標示の厚みの誤記でした。お詫び申し上げます。</u> この修正により図による表示は不要と考え、図の追加は行っておりません。	<u>ご指摘のとおり、わかりにくい表現でしたので公表版 3.3.1 項を以下のように修正いたしました。「路面標示の塗布の厚みは 1.5 mm とした。塗布の幅は、センターラインが幅 15 cm 程度であり、センターライン以外にも使用されることを考慮して、30 cm 相当と推定した。」</u> この修正により図による表示は不要と考え、図の追加は行っておりません。